

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立育精福祉センター成人寮	所管課	福祉保健部 障害福祉課
所在地	南アルプス市有野3303-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和47年4月1日
管理方式	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積:79,970㎡(児童寮を含む) ○建物延床面積:3,236.11㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・成人一寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,312.60㎡ ・成人二寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,429.65㎡ ・療育棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 342.60㎡ ・管理棟及び車庫の一部 151.26㎡ ○各障害福祉サービス定員 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護:105人 ・短期入所:9人 ・施設入所支援:90人 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)施設等の維持保全に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、短期入所及び施設入所支援に係る業務を行う。 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家:自立訓練(通所 22人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム:生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数	生活介護	101	104	104	
	短期入所	11	16	16	
	施設入所支援	90	88	89	
	利用者数合計	202	208	209	
	目標値	204	204	204	204
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
	対平成29年度比		103.1%	103.3%	
利用率		99.0%	102.0%	110.3%	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料	447,474,580	439,360,990	446,050,786	449,212,800
	指定管理者委託料				
	その他	579,279	373,200	459,269	413,200
	収入合計(A)	448,053,859	439,734,190	446,510,055	449,626,000
支出	人件費	311,385,627	349,612,500	324,105,131	318,676,000
	県への納付金				
	管理運営費	129,997,398	90,121,690	129,306,663	130,950,000
	うち外部委託費(B)	14,842,626	15,000,000	13,425,516	15,300,000
	支出合計(C)	441,383,025	439,734,190	453,411,794	449,626,000
収支差額(A-C)	6,670,834		△ 6,901,739		
外部委託比率(B÷C)	3.4%	3.4%	3.0%	3.4%	
利用者一人当たりの経費	2,151,519.1	2,155,559.8	2,140,713.7	2,204,049.0	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施期間:令和2年1月 調査方法:利用者へのアンケート 回答数:104名
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
相談・要望対応	56.0%	40.0%	4.0%	
プライバシー	71.0%	26.0%	3.0%	
食 事	58.0%	32.0%	10.0%	
入浴・身だしなみ	61.0%	34.0%	5.0%	
健康管理	75.0%	22.0%	3.0%	
買い物・外出	52.0%	40.0%	8.0%	
居 住	62.0%	34.0%	4.0%	
施設全般	52.0%	43.0%	5.0%	
施設全般の満足度	61.0%	34.0%	5.0%	

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ①面会や外泊を増やしてほしい ②選択給食を増やしてほしい ③センター内にコンビニエンスストアがあればよい ④買い物や外出にもっと行きたい ⑤映画鑑賞、本の読み聞かせ、紙芝居等余暇をもっと充実してほしい ⑥風呂の湯がぬるい 入浴剤等使って入浴を楽しみたい ⑦一人部屋が欲しい
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ①家族と協議し可能な限り外泊や面会の回数を増やしていきます。 ②栄養士を中心に給食委員会等で検討していきます。 ③現在のところ難しいですが、近くにローソンやセブンイレブンがあるので職員と買い物の計画について検討していきます。 ④寮の職員で検討し、満足のいくものにしていきます。 ⑤寮の職員と余暇活動について検討していき、必要なものは購入していきます。 ⑥ボイラーの問題なので、県と協議しています。すぐには結論が出ないので、入浴時間の調整などで対応していきます。入浴剤等は個人の好みがあるので、各寮で検討していきます。 ⑦物理的に現在以上の居室を増やせないなので、他の利用者との兼ね合いを考え対処していきます。

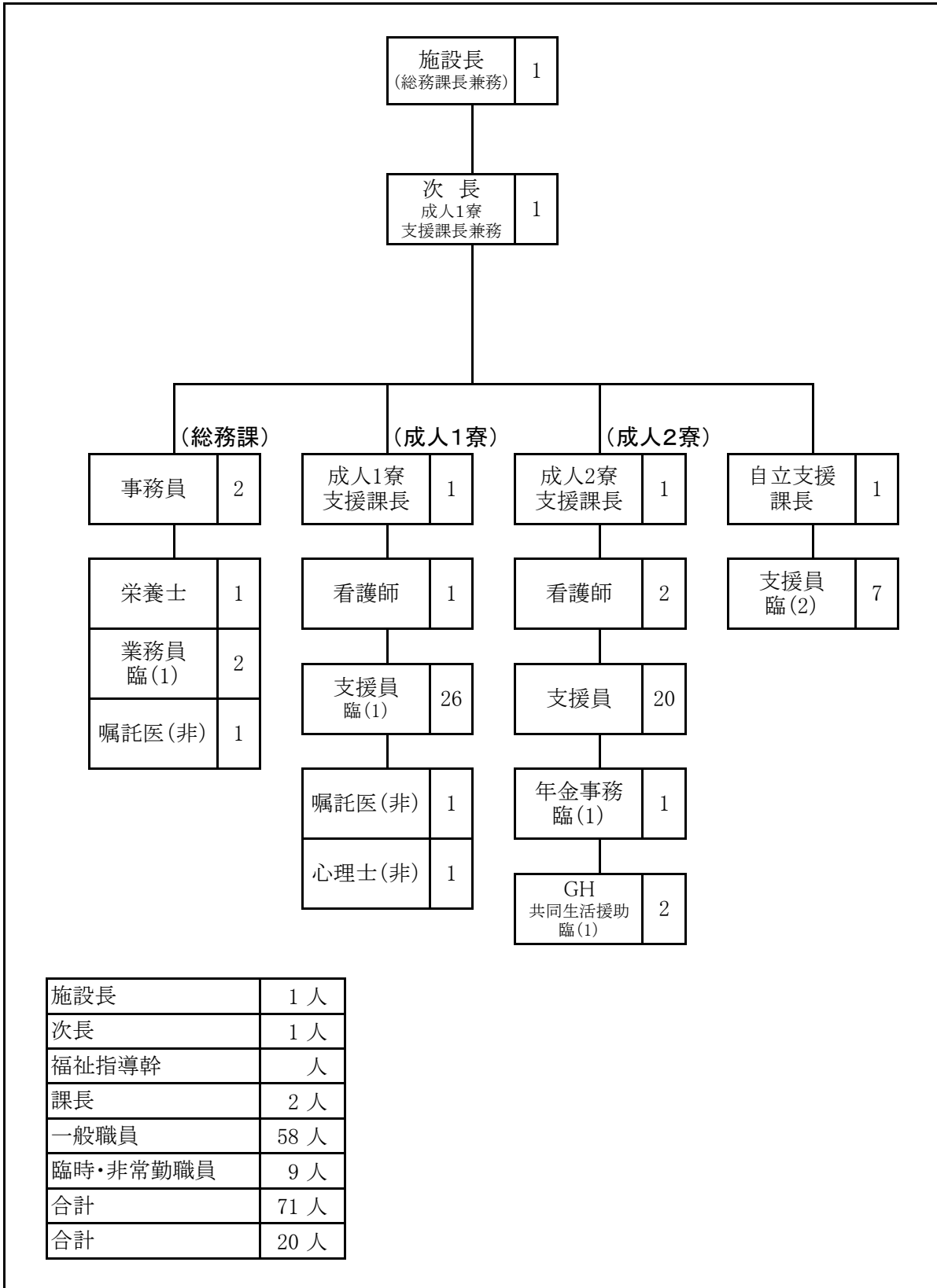
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>施設の不具合について、速やかな対処ができています。業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。</p> <p>平成29年度より、利用者の重度化・高齢化に対応するため、特殊浴槽を設置し、利用者が安全に生活できるよう、施設のバリアフリー化を推進している。令和元年度においても、利用者の高齢化に併せて、居室床、壁などへのクッション材配置などを実施している。</p>	<p>業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。</p> <p>施設・設備の老朽化が目立つことから、利用者の安全性や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に対応すること。</p>
運営業務	<p>個人の尊厳を尊重し、個人のニーズに合った支援を行い、重い障害のある方や高齢の方に、安全かつ安心して生活できる場を提供していくとともに、音楽療法や作業活動、余暇活動・乗馬療法など日中活動を充実して利用者の生活の質を高めるよう、事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。短期入所の拡大など、在宅障害者のニーズに応じて開かれた施設運営を行っている。</p>	<p>事業計画書に基づき適正に実施されている。今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。</p> <p>今後とも、利用者の重度化・高齢化に対応した支援を推進するよう努力されたい。</p>
利用状況	<p>利用者の生活支援を行なう生活介護では、通所利用者等、在宅障害者の利用が多くなり定員一杯の状況である。</p> <p>短期入所利用については、ニーズも高く利用が多くなっている。</p> <p>そのほかの各サービス事業の年間利用については、障害者やご家族の個々の状況に必要なサービスを実施しており、概ね計画通りの執行を行っている。</p>	<p>概ね計画どおりの利用が図られている。短期入所のニーズ増にも適切に対応している。</p> <p>引き続き質の高いサービスを提供し、利用者数を維持すること。</p>
収支状況	<p>昨年度同様、利用率も高く同様の利用料増加が見込めたが、新型コロナの影響で短期入所受入を一時中止した為、前年度より減収となっている。</p> <p>人件費については、児童寮の指定管理導入を見据えて人員増を図ったため増額となっている。</p> <p>引き続き、収入増への努力をする傍ら適切な支出に努め、安定的な運営ができるよう取組んでいる。</p>	<p>感染症対策という不測の事態により収支に影響が出たのはやむを得ないと考える。</p> <p>増加したマンパワーを最大限活かしつつ、児童寮と連携した効率的な運営により、支出の削減を図られたい。</p>
自主事業	<p>事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。</p> <p>また、育精成人寮がバックアップ施設となるグループホーム(みっとホーム)も安定的な運営となっている。</p>	<p>自主事業である日中一時支援やグループホーム(みっとホーム)による生活援助について事業計画書に基づき、適正に実施されている。</p>
利用者満足度	<p>「満足」「どちらかといえば満足」との回答が多く出ている。</p> <p>引き続き利用者等の意見を聴くなかで、利用者の満足度を上げられるよう、生活全般にわたり見直すとともに、安全、安心な環境となるよう努めて行く。</p>	<p>全体的には、満足度の向上が見られており、引き続き、利用者のニーズを適切に把握しながら、支援の充実に努められたい。</p> <p>なお、「食事」については、満足度が下がっていることから、利用者の意見を入れながら、献立の工夫を図られたい。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>重い知的障害のある方が自立した生活を送ることができるよう、個別支援計画に沿った生活支援を行うとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。</p> <p>個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行うことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。</p> <p>利用者数は、生活介護104名、施設入所支援89名、短期入所16名・延べ1,153日と昨年同様高い利用実績であり、事業計画どおりの業務ができている。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>利用者数は増加傾向にあり、利用者の満足度が高く、保護者との関係も良好である。</p> <p>個々の利用者の状況にあった個別支援計画に基づき、質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営している。</p> <p>利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力している。</p> <p>障害者支援施設として適切な運営を行っている。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>引き続き利用者の満足を得られるよう、質の高いサービスの提供に努めていく。</p> <p>今後も、条例、協定等に基づき施設管理運営業務を適正に履行していく。</p> <p>利用者や保護者の意向や生活状況を踏まえて、自立した生活が営めるよう個別支援計画を作成し必要な支援を行っていく。</p> <p>利用者の重度化・高齢化に対応した職員の資質の向上に努めていく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成31年4月1日現在



施設長	1人
次長	1人
福祉指導幹	人
課長	2人
一般職員	58人
臨時・非常勤職員	9人
合計	71人
合計	20人